

患者と生活者の多様なニーズに応えるヒューマン・ヘルスケア企業

# イーザイ株式会社 川島工場

令和6年度温室効果ガス排出量の削減率/令和3年度比:57.8%



## 蒸気から電気へ、補助金を活用した空調の電化で化石燃料依存からの脱却を実現

イーザイ株式会社はカーボンニュートラル宣言に基づき、川島工場をモデルケースとして空調熱源の電化を断行しました。従来は都市ガスボイラーによる蒸気を利用していました。高効率ヒートポンプへの刷新により脱炭素の課題を解決。導入時はSII補助金を活用し、協力会社と連携して申請を行いました。設計段階では、正確な把握が困難な蒸気使用量を過去のデータから精査し、過剰投資を防ぎつつ、エネルギーロスを最小限に抑えるレイアウトを構築。導入後は概ね期待通りの成果を得ています。

外気温による性能変化も確認されており、外気温を想定した設置場所の選定や設備規模の決定が重要であるというこの知見は、今後他棟への展開だけでなく、化石燃料からの脱却を目指す多くの製造業にとっても極めて有益な先事例といえます。



## 「自然との調和」をZEB Ready認証で形にし省エネ効果を可視化



新設されたカフェテリア管理棟は、「自然と調和した建物」をコンセプトに、脱炭素・生物多様性・防災を設計に反映。その取組を総合的に可視化する指標として、ZEB Ready認証を取得しました。高断熱化や低放射複層ガラスの採用、人感照明、自然採光の活用に加え、太陽光発電設備を導入することで、徹底した省エネ・創エネを追求しています。認証取得は、自社の環境姿勢を社内外へ明確に示す契機となりました。この事例を基に、今後は他の建物新設時にも同様の基準を検討していく方針です。機能性と環境配慮を両立させた本施設は、

企業の資産価値向上と従業員の満足度向上を同時に叶える、次世代のオフィス・管理棟のあり方を提示しています。

## RE100達成に向けた証書活用と電源追加性のこだわりで再エネ導入率98.7%

2030年度までの再エネ化100%達成を目指して、グローバルな枠組みである「RE100」に加盟。2024年度の全社実績では再エネ導入率98.7%という極めて高い水準を実現しました。特筆すべきは、単なる証書の購入に留まらず、まずは自社での再エネ創出を優先し、不足分を補う際も電源の「追加性」に配慮している点です。これにより、社会全体の脱炭素化へ実質的に寄与する形を追求しています。再エネ導入は企業規模を問わず着手できる社会貢献であり、一社の行動が社会を変える原動力となります。イーザイ株式会社はこれからも営業車両の電動化やサプライヤーへの働きかけも強化し、医薬品を届ける企業の責務として、患者の生活基盤である持続可能な社会づくりを力強く牽引していく構えです。

熱源転換とZEB化で加速する脱炭素経営。  
2050年ネットゼロを見据えた先進的モデル



〈所在地〉岐阜県各務原市川島竹早町1  
〈電話〉0586-89-3115  
〈HP〉<https://www.eisai.co.jp>

